

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 5 年 2 月 6 日(2023.2.6)

【公開番号】特開 2023-9658(P2023-9658A)  
 【公開日】令和 5 年 1 月 20 日(2023.1.20)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-012  
 【出願番号】特願 2021-113112(P2021-113112)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 8 B

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

【手続補正書】  
 【提出日】令和 5 年 1 月 27 日(2023.1.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

20

遊技球が入球可能な始動口と、

主遊技識別情報を表示可能な主遊技識別情報表示部と  
を備え、

始動口への入球に基づき、主遊技情報を取得する取得手段と、

取得手段により主遊技情報が取得された場合、当否判定許可条件を充足するまで当該取得  
された主遊技情報を保留として一時記憶する記憶手段と、

30

当否判定許可条件を充足した場合、取得手段が取得した主遊技情報に基づき、当否判定を  
実行する当否判定手段と、

取得手段が取得した主遊技情報に基づき、主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報を  
変動表示させた後で停止表示するよう制御する主遊技識別情報表示制御手段と、

主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報が所定態様の停止表示態様にて停止表示された  
後、可変入賞口を遊技者にとって有利な状態とし得る特別遊技を実行する特別遊技制御手  
段と

を備え、

付与される遊技価値数と使用される遊技価値数との差数に関する情報を記憶可能であり、  
前記差数に関する情報が所定数に到達した場合には、遊技価値の獲得を抑制するための制  
御が実行される状態である抑制状態となるよう構成されており、

40

特別遊技の実行中である所定タイミングにて、前記差数に関する情報が前記所定数に到達  
した場合には、当該所定タイミングでは抑制状態にはならず、特別遊技終了後の特定タイ  
ミングにて抑制状態となるよう構成されており、

停止表示態様が前記所定態様となる主遊技識別情報の変動表示中に前記差数に関する情報  
が前記所定数に到達した場合には、抑制状態となり、当該主遊技識別情報に対応する特別  
遊技は実行されないよう構成されており、

特別遊技の実行中である前記所定タイミングにて、前記差数に関する情報が前記所定数に  
到達した場合には、所定演出を実行するよう構成されており、

前記所定演出は、特別遊技終了後の前記特定タイミングにて抑制状態となることを示唆

50

する演出である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本態様に係る遊技機は、

遊技球が入球可能な始動口と、

主遊技識別情報を表示可能な主遊技識別情報表示部と

を備え、

始動口への入球に基づき、主遊技情報を取得する取得手段と、

取得手段により主遊技情報が取得された場合、当否判定許可条件を充足するまで当該取得された主遊技情報を保留として一時記憶する記憶手段と、

当否判定許可条件を充足した場合、取得手段が取得した主遊技情報に基づき、当否判定を実行する当否判定手段と、

取得手段が取得した主遊技情報に基づき、主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報を変動表示させた後で停止表示するよう制御する主遊技識別情報表示制御手段と、

主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報が所定態様の停止表示態様にて停止表示された後、可変入賞口を遊技者にとって有利な状態とし得る特別遊技を実行する特別遊技制御手段と

を備え、

付与される遊技価値数と使用される遊技価値数との差数に関する情報を記憶可能であり、前記差数に関する情報が所定数に到達した場合には、遊技価値の獲得を抑制するための制御が実行される状態である抑制状態となるよう構成されており、

特別遊技の実行中である所定タイミングにて、前記差数に関する情報が前記所定数に到達した場合には、当該所定タイミングでは抑制状態にはならず、特別遊技終了後の特定タイミングにて抑制状態となるよう構成されており、

停止表示態様が前記所定態様となる主遊技識別情報の変動表示中に前記差数に関する情報が前記所定数に到達した場合には、抑制状態となり、当該主遊技識別情報に対応する特別遊技は実行されないよう構成されており、

特別遊技の実行中である前記所定タイミングにて、前記差数に関する情報が前記所定数に到達した場合には、所定演出を実行するよう構成されており、

前記所定演出は、特別遊技終了後の前記特定タイミングにて抑制状態となることを示唆する演出である

ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

演出表示を制御する副制御手段と、

主制御手段にて制御される第一報知手段と、

副制御手段にて制御される第二報知手段と

を備え、

付与された遊技価値数と発射された遊技球数との差球数を算出可能であり、

差球数が所定数に到達した場合には、遊技の進行がされない抑制状態となるよう構成されており、

抑制状態においては、第二報知手段にて抑制状態である旨の報知が実行されるよう構成

10

20

30

40

50

されており、

所定条件を満たした場合には、第二報知手段にて、前記所定数までの残りの差球数に関する報知が実行されるよう構成されていることを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50